

Link!

第2号

Contents

— もくじ —

- P1 **Hot Topic!** 「にほんごであそぼう 2015」
- P2 インタビュー企画「種まく人」
TIVONAの会 会長 清水 晃さん
- P3 **ZoomUp!** 「英語スピーチ・プレゼンテーション大会」
「医療通訳ボランティア養成講座」
- P4 Reports & Notice Board



文化体験協力団体一覧

1	国際書道サークル	書道と手形
2	茨城県立筑波高等学校JRC部	百人一首、ガマの油売り口上
3	能楽 金春流櫻詠会	能面試着、唄(高砂)など体験
4	スマイルアップ推進委員会	筑波恋古道踊り
5	きららの会	和紙折り紙
6	めぐみ千代紙人形	しおりづくり
7	着物にチャレンジクラブ	着付け、浴衣など
8	表千家	茶道(試飲)
9	筑波学院大学	フェイスペインティング
10	TIVONA の会	川柳
11	つくばで国際交流しよう	多言語名刺作り
12	つくばインターナショナル・スクール	世界のダンス紹介



Hot Topic!

にほんごであそぼう 2015

平 成27年3月15日につくばサイエンス・インフォメーションセンターでにほんごであそぼう2015を開催いたしました。

にほんごであそぼうは、「国籍に関係なく住みやすい・愛着のわくつくば」を目指すひとつのきっかけとして開催しています。

イベントは、文化体験と日本人と外国人による会議の2つの内容で実施しました。

文化体験では、能楽や日本舞踊、川柳など、日本文化で身近なものから普段あまり目にする機会のないものまで幅広く体験することができ、参加者の皆さんが長時間楽しんでいらっしゃいました。

会議は、午前に国際青少年会議、午後に大人会議をおこないました。国際青少年会議では、4人の中学生・高校生に「将来と日本語」というテーマで、日本語についての考え方や感じ方、学習方法などを発表していただきました。発表後は、参加者との意見交換をおこない、お互いの考え方や文化の違いを共有し、実践的に考える場になりました。

大人会議では、つくば市国際化基本指針について、都市環境や生活サポートなどテーマに別れて、グループディスカッションをおこないました。話し合った内容は、筑波大学助教鈴木華子氏のファシリテーションのもと集約されました。指針改訂に向けてつくば市にこの結果を活かしてもらえよう連携していきます。

当日は、200名以上の方にご来場いただきました。次回は、さらに「にほんご」を縁とした楽しい国際交流を実践できるよう努力していきます。

当日プログラム

10:00 ~ 11:00	開会～アイスブレイク
11:00 ~ 12:00	国際青少年会議
12:00 ~ 13:00	昼食交流会
13:00 ~ 14:30	大人会議
13:00 ~ 16:00	文化体験





種まく人 ～Seedfolks～

TIVONAの会 会長 清水 晃さん

TIVONAの会とは、つくば市国際交流協会の日本語教室の講師を中心としたボランティア団体です。会長の清水さんに、教室の特徴・ご自身と日本語教育・日本語教室のこれからについてお話をうかがいました。

日本語教室の特徴と工夫

つくば市国際交流協会の日本語教室は今年で23年目になります。特徴は昼間と夕方の教室があること、働いている人も含めて一般社会人向けの教室であることです。つくばで生活する外国人が日常生活に必要な日本語を学習する場であることを目標にしています。

日本語教室がスタートして2年後にTIVONAの会ができました。この会では、教室の運営についてそれぞれの考え方や教え方の違いを調整し、その中で大きい方向としてこっちに進むんだ、という舵取りができるよう努力しています。

教室のレベルを維持するために、入門講座の実施やクラス毎のベテラン、新人講師のバランスを考慮するなど様々な工夫もしています。地域における日本語教室には、はっきりしたモデルというものがありませんから、自分たちでどう進めるかを考える必要があります。

受講生も社会人ですから、「教える・習う」という関係ではなく、彼らから「学ぶ」こともあります。受講生から想定とは違うリアクションがでてくる、ものの見方がちがう・・・こういった点を知ることができるのもおもしろみです。

日本語講師と私

私が日本語に携わるきっかけになったのは、サラリーマンとして長年働いてきて、退職したら違うことがしたいという思いがあったことです。外資系の会社にいましたので、言葉ではずいぶん苦労しました。その経験が今の活動の原動力になっているとも思います。

日本語教育能力検定試験を受け、日本語講師としての活動をスタートさせてから15年ほどが過ぎました。今までの仕事とまったく違うジャンルなので難しく、ずいぶん勉強しました。

日本語を教えるということにおいては、経験を積むことが大事だと思っています。教室でどう教えるか、授業の前にはいろいろ準備しますが、10年

以上やってもなかなかうまくいかないものです。思った通りにいくのは10回に3回ぐらいのものでしょうか。

過渡期にある地域の日本語教室

地域の日本語教室は今、変わりつつあるのではないかと考えています。

今までは文法中心の教え方で、テキストも文法を柱としたものが主流でした。しかし、文法ができても会話ができるとは限りません。最近、地域の教室を考えた会話のテキストがいろいろ出版され、新しい授業の進め方も導入されはじめています。そういった意味で過渡期にあると思います。

このような背景の中で、TIVONAの教室では今年4月から会話の授業のウェイトを増やしています。新しい試みなので、現場ではいろいろ分からないことも多くあります。教え方の基本を変える必要があるからです。メンバー間での勉強・情報交換などを通してノウハウを確立するための努力が必要ですが、これはそんなに簡単な作業ではなく、定着するのに数年かかるのではないかと考えています。

また、会話を重視することについて、当然違う意見もあります。自分たちの教室だけでなく、もっと大きい枠組みで地域の教室がどこを向いてやっていくべきかについても考えてゆく必要があると感じています。

課題は多々ありますが、自分が外国語での会話には苦労しましたので、会話を勉強したいという外国人の気持ちはよくわかります。少しでもいいから日本語のコミュニケーションの輪に加わることができるようにもっていったいあげたいですね。



日本語クラスの様子



日本語課外授業 筑波山ハイキング

事業報告① **ZOOM UP!** 英語スピーチ・ プレゼンテーション大会

2014年12月22
日、23日の2日間に
わたって行いまし
た。この大会の趣旨

は、留学生とペアを組んで発表原稿の作成、練習、発表をして、語学の楽しさやコミュニケーション力を身につけようというもので、つくば市内の中学生18名が参加しました。筑波大学スチューデントcommonsを会場としました。

初めは中学生、留学生共に相手の様子を探りながらぎこちなさそうに話していましたが、次第に打ち解けて笑顔を交えて練習するようになっていきました。2日目午後の発表では、留学生が傍で見守る中、中学生それぞれが自身の考えや思いを発表していました。

引率に来ていた中学校の先生たちも、2日間での生徒のコミュニケーション能力の向上ぶりに驚いている様子で、効果を実感できるイベントになりました。

共催：筑波大学グローバル・commons機構
筑波研究学園都市交流協議会
協力：City Chat Café



練習風景



発表の様子

事業報告② **ZOOM UP!** 第5回医療通訳 ボランティア養成講座

つくば市国際交
流協会では、外国人
が医療機関において
母語による安心な診

療を受けることを可能にするため、「医療通訳ボランティア」を派遣しています。

その養成講座を2014年11月8日、29日、12月6日の全3回で実施しました。初日は茨城県立こども病院

連利博副院長をメインゲストとしてむかえ、「医療通訳とはなにか？」に関する講演や医療通訳の現状と課題に関するパネルディスカッションを実施しました。

2、3日目は神奈川県で医療通訳ボランティアの派遣について日本の最先端を走るMICかながわから講師を招き、実践的な講義とロールプレイ演習、そして最終日には試験をおこないました。

全体で80名程度の受講者から、今回は8名のボランティアが誕生しました。試験ではただの言語スキルだけでなく、傾聴や患者が話をしやすい雰囲気、そしてわからないことをその場で調べたり、聞き返せたりする能力などが重要視されました。

残念ながら不合格となった皆さんにも、継続して勉強会等に参加していただき合格を目指していただきます。

病院の現場に立ち会うたびに、非常に社会的使命のあるボランティアだと感じています。ボランティアの人とタッグを組んで、より外国の人が安心して日本の医療を受けることができる環境づくりに取り組んでいきたいと思います。



1日目パネルディスカッション



2、3日目 ロールプレイ実習



MICかながわ講師による講義

Reports

フットサル2014

外国人住民の地域参加のきっかけなどを目的として、平成26年11月30日にセキショウチャレンジスタジアムで開催されました。

当日は383名の参加者が集まり、サッカーを介した国際交流を楽しみました。本年は平成27年11月29日に開催される予定です。



つくば英語観光ガイド 梅まつり実習

当協会の英語観光ガイドの研修の一貫として、筑波山梅まつりを訪問する実習ツアーを実施しました。

はじめは緊張した様子でしたが、満開の梅の雰囲気も手伝ってだんだんと笑顔が増えてきました。参加した外国人からの評価も高く、よい実習になりました。



会員交流会 ～JICA研修員は何してる？～

2015年2月21日、会員交流会*1をJICA筑波国際センターで行いました。18名の会員がJICA研修員10名と交流をしました。研修員の方による母国紹介、母国の遊びの披露や情報共有など楽しい時間を過ごしました。今後も会員の皆様が楽しく交流できるような企画を作っていきたいと思います。

*1(会員:当協会のボランティア・サポーター・賛助会員)

文化紹介(交流センター講座)

2014年10月12日荃崎交流センター講座にて、「モンゴル講座」を実施しました。アマラさんとゾローさんが講師として参加し、アマラさんからは、モンゴル建国から現在までの激動の歴史を、ゾローさんからは、馬頭琴の演奏とモンゴル舞踊の披露をいただきました。40名の聴講者からもたくさんの質問がでて好評をいただきました。



Notice Board

つくば市国際交流協会 賛助会募集！

賛助会では、協会の活動の趣旨にご賛同いただけるみなさまからの資金面でのご支援を募っております。

賛助会費

個人:1口 2000円/年 団体:1口 10,000円/年
法人:1口 20,000円/年

平成26年度賛助団体及び法人(平成27年3月31日現在)(敬称略)
常陸興業株式会社、TIVONAの会、ホテル松島、医療法人健佑会、株式会社 相澤建築設計事務所、株式会社 関彰商事、浅野物産株式会社、株式会社 高田工務店、学校法人 筑波研究学園、株式会社 大和田建設

※その他運営面を支援いただく各種ボランティアがごいます、詳しくは当協会HPをご覧ください。



会員特典もあります！

高校進学なんでもガイダンス

外国人親子を主な対象に、「日本の高校にいくってどういうこと？」ということをシステム、試験、お金など様々な面からお伝えします。高校の先生や、高校進学を経験した保護者や外国人高校生が集まります。

【日時】7月11日(日) 午前10時～正午

【場所】つくば市役所 2階防災会議室

- 【内容】①「高校にいこう！」ガイダンス
②「高校生活をイメージ！」ガイダンス
③先輩・保護者の体験談
④高校紹介
⑤全体での座談会

つくば市外国人のための相談室

つくば市に住む、学ぶ、働いている外国人を対象に婚姻・労働・在留資格等に関するアドバイスを相談員がおこなっています。日本人の方からの外国人に関わる相談にもお応えします。



曜日	時間	言語
毎週水曜日	9時～12時	中国語、やさしい日本語
毎週木曜日	9時～12時	英語、やさしい日本語

編集・発行



一般財団法人つくば市国際交流協会
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-10-1 つくばサイエンス・インフォメーションセンター内
TEL:029-869-7675 FAX:029-852-5513
ホームページ: <http://www.inter.or.jp/index.htm> メールアドレス: info@inter.or.jp